



CITIZEN

2023年度（2024年3月期）  
通期決算説明会

シチズン時計株式会社

2024年5月13日

2023年度通期業績概要	3
2023年度第4四半期（1－3月期）業績概要	7
2024年度通期連結業績予想	15
「中期経営計画2024」取り組み	18

広報IR担当の古川です。

本日は、最初に通期業績、次に第4四半期の業績、その後2024年度の通期業績予想につきまして、最後に中期経営計画のレビューの順でご説明をさせていただきます。

## 2023年度通期業績概要

2023年度通期業績の概要でございます。

(単位：億円)	2022年度 通期実績	2023年度 通期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	3,013	3,128	+114	+3.8%
営業利益	237	250	+13	+5.7%
営業利益率	7.9%	8.0%	-	-
経常利益	290	308	+17	+5.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	218	229	+11	+5.1%
為替レート	¥135/USD ¥141/EUR	¥144/USD ¥156/EUR		

■ 時計事業が牽引し、増収増益

4

売上高は、3,128億円、前年比3.8%の増収、  
営業利益は、250億円、前年比5.7%の増益、営業利益率は8.0%となりました。  
主力の時計事業が期を通して堅調に推移し、増収増益となりました。

経常利益は308億円、前年比5.9%増、  
親会社株主に帰属する当期純利益は229億円となり、  
2年ぶりに過去最高を更新いたしました。

(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高	2022年度 通期実績	2023年度 通期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
時計事業	1,500	1,662	+162	+10.8%
工作機械事業	861	816	▲45	▲5.3%
デバイス事業	447	424	▲22	▲5.0%
電子機器他事業	204	225	+20	+10.0%
合計	3,013	3,128	+114	+3.8%
営業利益				
時計事業	166 (11.1%)	198 (11.9%)	+32	+19.4%
工作機械事業	122 (14.2%)	90 (11.1%)	▲31	▲26.0%
デバイス事業	▲8 (▲1.8%)	4 (1.1%)	+12	-
電子機器他事業	11 (5.6%)	15 (7.1%)	+4	+38.7%
消去又は全社	▲54	▲58	▲4	-
合計	237 (7.9%)	250 (8.0%)	+13	+5.7%

5

セグメント別の業績です。

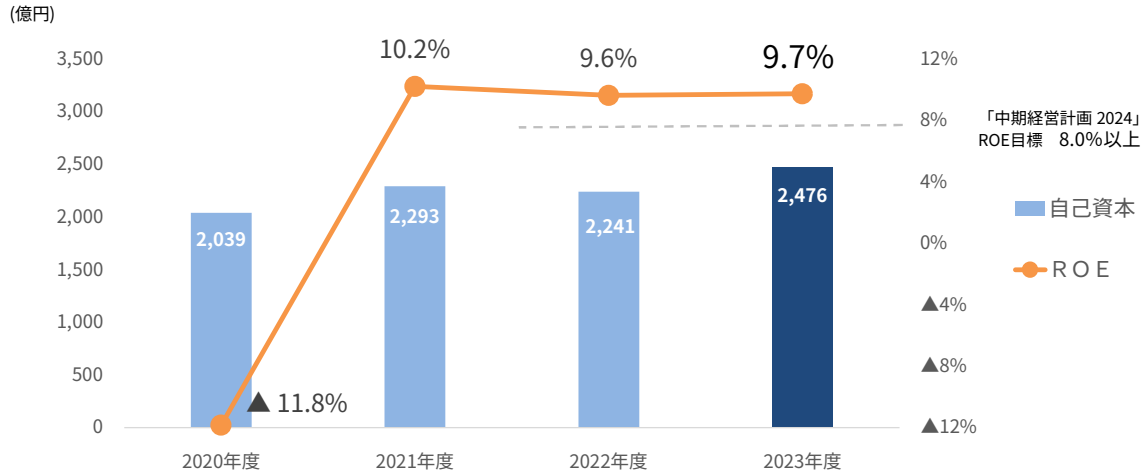
時計事業は、欧米を中心に好調な販売が継続し、売上高は1,662億円、前年比10.8%の増収、営業利益は198億円、前年比19.4%の増益、営業利益率11.9%となりました。

工作機械事業は、受注の調整局面が継続し、売上高816億円、前年比5.3%の減収となりました。営業利益は90億円、売上減と部材のコスト高の影響などにより、減益となりました。

デバイス事業は減収となりましたが、営業利益は増益となりました。また、電子機器他事業は増収増益となっております。

## ROE推移

- 収益性の向上および自己資本の圧縮により、前年を上回るROE9.7%となった
- 中期経営計画目標の「ROE8.0%以上」を達成




※ ROE = "親会社株主に帰属する当期純利益" / "自己資本 (期首残高と期末残高の平均値)"

6

ROEの進捗状況ですが、2023年度のROEは、9.7%となりました。

中期経営計画の目標であるROE8.0%以上を前年に引き続き、収益性の向上と自己資本の圧縮により、上回ることができました。中計最終年度である2024年度も、「ROE8.0%以上」の達成を見込んでいます。

## 2023年度第4四半期（1－3月期）業績概要



続いて、第4四半期の業績です。

(単位：億円)	2022年度	2023年度	前年同期比	
	4Q(1-3月)実績	4Q(1-3月)実績	増減額	増減率
売上高	711	739	+27	+3.9%
営業利益	26	16	▲10	▲38.3%
営業利益率	3.8%	2.2%	-	-
経常利益	46	33	▲13	▲28.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	21	22	+1	+6.0%
為替レート	¥133/USD ¥142/EUR	¥147/USD ¥160/EUR		

売上高は739億円、前年比3.9%増、  
営業利益は16億円、前年比38.3%減、営業利益率は2.2%でした。  
工作機械事業が減益が主な要因となっております。

経常利益は33億円、前年比28.4%減、四半期純利益は22億円、前年比6%増となりました。



2023年度第4四半期（1-3月） セグメント別業績推移

CITIZEN

(単位：億円 / %：営業利益率)

	2022年度		2023年度		前年同期比	
	4Q(1-3月)実績		4Q(1-3月)実績		増減額	増減率
売上高						
時計事業	326		389		+63	+19.4%
工作機械事業	227		194		▲33	▲14.7%
デバイス事業	105		99		▲5	▲5.4%
電子機器他事業	52		55		+3	+6.4%
合計	711		739		+27	+3.9%
営業利益						
時計事業	8 (2.6%)		14 (3.6%)		+5	+64.3%
工作機械事業	37 (16.5%)		15 (7.8%)		▲22	▲59.9%
デバイス事業	▲6 (▲6.2%)		0 (0.3%)		+6	-
電子機器他事業	1 (3.2%)		2 (5.1%)		+1	+67.2%
消去又は全社	▲14		▲15		▲1	-
合計	26 (3.8%)		16 (2.2%)		▲10	▲38.3%

9

こちらは、セグメント別業績でございます。

時計事業、電子機器他事業が増収となった一方で、工作機械事業、デバイス事業が減収となりました。

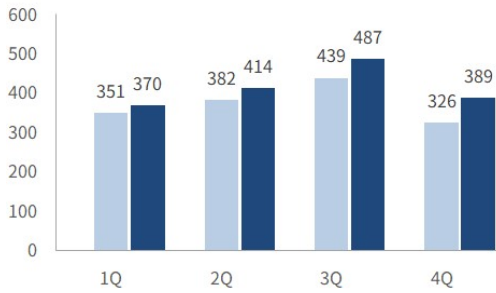
この後、事業別の概況を説明いたします。

第4四半期（1-3月）

- 完成品 国内市場が緩やかな回復傾向を維持した他、北米や欧州市場の販売も好調さを保ち、増収
- ムーブメント アナログクォーツムーブメントは伸び悩むも機械式ムーブメントは堅調に推移し、増収

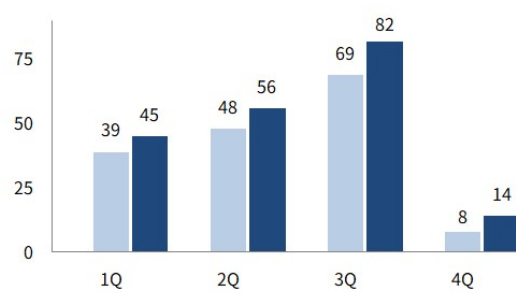
売上高(億円)

■ 2022年度 ■ 2023年度



営業利益(億円)

■ 2022年度 ■ 2023年度



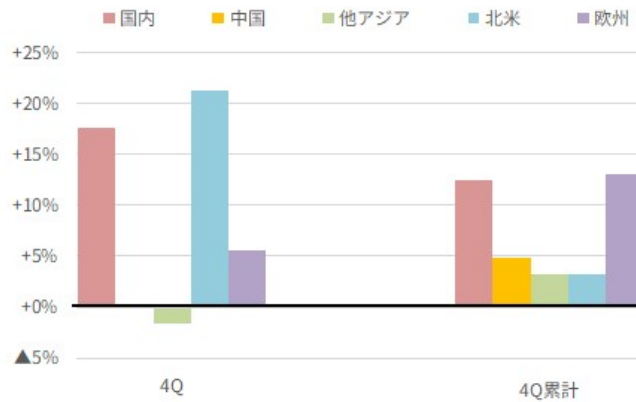
時計事業です。

完成品販売は、国内が緩やかな回復傾向を維持したほか、北米や欧州の販売も好調さを保ったことで、増収となりました。

ムーブメント販売は、アナログクォーツムーブメントは伸び悩みましたが、機械式ムーブメントが堅調に推移し、増収となりました。

前年同期比増減率（現地通貨ベース）

※ 北米のみCITIZENブランドとBULOVAブランドを合算した増減  
その他の地域はCITIZENブランドのみの増減率



4Q（1－3月）販売状況

- 国内 消費は緩やかな回復に留まったものの『ATTESA』などのメンズブランドが堅調に推移し、増収
- 中国 消費マインドの低迷が続き、前年並み
- 他アジア インドなど好調なエリアがあった一方、東南アジア市場、香港などは市況が回復せず、微減
- 北米 EC販売の好調に加え、新製品のセルインが進んだことで百貨店・宝飾チェーンが回復し、増収
- 欧州 “TSUYOSA” Collectionのラインナップ拡充もあり引き続き好調を維持し、増収

続いて、現地通貨ベースの地域別売上高、前年比較についてご説明します。

左のグラフが、第4四半期のみの数値となっております。

赤色の国内は、消費の回復は緩やかなものに留まりましたが、『ATTESA』などのメンズブランドが堅調に推移し、増収となりました。

中国は、消費マインドの低迷が続き、前年並みとなっております。

薄緑のアジア地域は、インドなどの好調なエリアがあった一方で、東南アジアや香港などの市況が回復せず、僅かに前年を下回りました。

水色の北米は、EC販売の好調に加えまして、新製品のセルインが進んだことで、百貨店、宝飾チェーン向けの販売が回復し、増収となりました。

薄紫色の欧州につきましても、“TSUYOSA” Collectionのラインナップ拡充もありまして、引き続き好調を維持し、増収となりました。

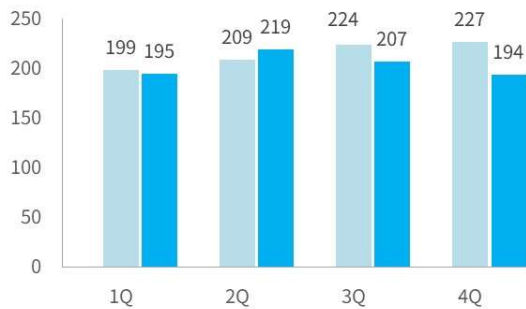
年度累計では、右のグラフにみられますように、全地域で増収となり、特に国内、欧州は1割以上の売上増となりました。

第4四半期（1-3月）

- 設備投資への慎重姿勢が継続する中、自動車関連の出荷の伸び悩みや各市場の低迷が響き、減収

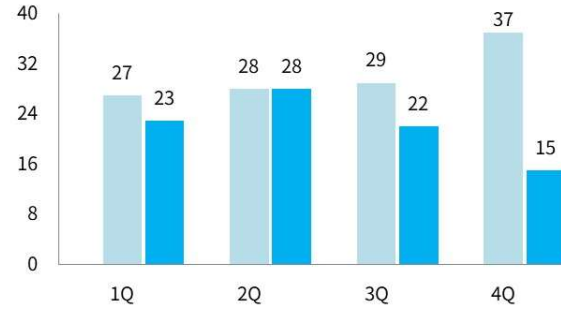
売上高(億円)

■ 2022年度 ■ 2023年度



営業利益(億円)

■ 2022年度 ■ 2023年度

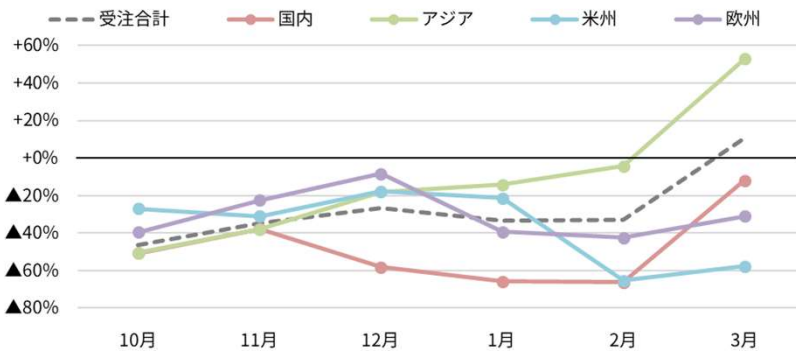


12

工作機械事業です。

設備投資への慎重姿勢が継続する中、自動車関連の出荷の伸び悩みなど市場の低迷が響き、売上高は194億円、前年比14.7%の減収、営業利益は減収と仕入れ部材のコスト高などによりまして、15億円と前年比59.9%の減益となりました。

前年同月比増減率 (3ヵ月移動平均受注台数)



4Q前年同期比増減率 (四半期受注台数)

● 受注合計	+11%	緩やかな回復基調は継続するも、3月に値上げ前の駆け込み需要があり一時的に大幅伸長
● 国内	▲12%	市況低迷が継続し設備投資への慎重姿勢が広がるも、値上げ前の駆け込み需要により3月は伸長
● アジア	+53%	春節明けの受注が好調に推移するも、市況の見通しは依然不透明
● 米州	▲58%	景気後退懸念の高まりを受け低水準の推移
● 欧州	▲31%	医療関連などが堅調に推移するも、設備投資意欲は限定的

13

地域別の受注状況です。

上の折れ線グラフは、受注台数の3ヵ月移動平均、前年同月比増減率を示しています。

受注は第2四半期に底打ちした後、緩やかな回復基調を辿っておりますが、3月に、値上げ前の駆け込み需要があり、一時的に受注が大幅増加となりました。

下の表は第4四半期の前年同期比増減率を示しています。

受注合計は前年比11%増となりました。

地域別にみますと、

国内は、設備投資への慎重姿勢が見られる中、全体的に市況低迷が継続し、前年比12%減となりました。

アジアは、依然として市況の不透明感が続いておりますが、中国において春節明けの受注が好調となり前年比53%増となりました。

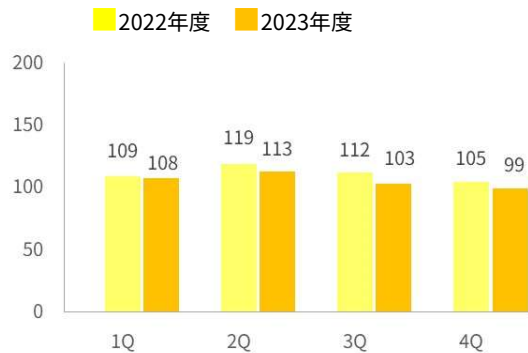
米州は、景気後退懸念の高まりを受け低水準となり、前年比58%減となっております。

欧州は、医療関連などが堅調に推移したものの、設備投資への意欲は限定的なものに留まり、前年比31%減となりました。

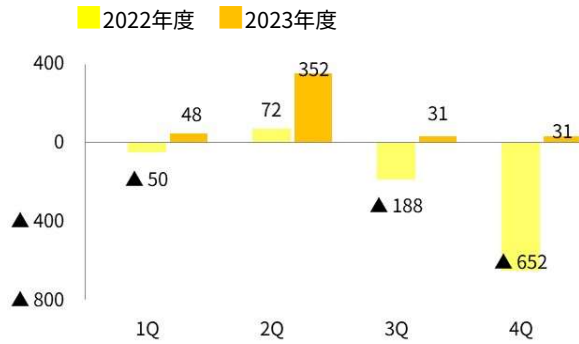
第4四半期（1-3月）

- 自動車部品 国内は市場動向の影響を受けるも部材の供給制約の緩和など市場全体の緩やかな回復を受け増収
- 小型モーター 医療関連など幅広い分野の市況の回復が寄与し、増収
- 他デバイス 水晶、オプトデバイスなどその他の製品の低迷が響き、デバイス事業全体では減収

売上高(億円)



営業利益(百万円)



デバイス事業です。

売上高は99億円、前年比5.4%減となりましたが、営業利益は黒字を確保いたしました。

自動車部品では緩やかな回復が続いた他、小型モーターは医療関連など幅広い分野の市況回復が寄与し、増収となりました。

一方で、水晶、オプトデバイスなど、その他の製品の低迷が響き、デバイス事業全体では減収となっております。

## 2024年度通期連結業績予想

続いて、2024年度業績予想についてご説明いたします。

## 2024年度通期業績予想

(単位：億円)	2023年度 実績		2024年度 予想		増減額		増減率	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高	1,529	3,128	1,510	3,100	▲19	▲28	▲1.3%	▲0.9%
営業利益	135	250	110	230	▲25	▲20	▲18.8%	▲8.2%
営業利益率	8.9%	8.0%	7.3%	7.4%	-	-	-	-
経常利益	174	308	122	255	▲52	▲53	▲30.0%	▲17.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	133	229	125	220	▲8	▲9	▲6.6%	▲4.2%
為替レート	¥139/USD ¥152/EUR	¥144/USD ¥156/EUR	¥145/USD ¥155/EUR	¥145/USD ¥155/EUR				

## 為替影響額 (1円円安の年間影響額)

	USD	EUR
売上高	+6.5億円	+3億円
営業利益	+2億円	+1.5億円

## 2024年度配当金予想

- 年間配当金予想 45円（中間 22円50銭 / 期末 22円50銭）、前期比5円増配

16

売上高につきましては、前年比28億円減の3,100億円、  
営業利益は、前年比20億円減の230億円、経常利益は255億円といたしました。  
当期純利益につきましては、第1四半期に投資有価証券売却による特別利益を見  
込んでいることもあり、  
前年比9億円減の220億円を予想としております。  
なお、業績予想の前提為替レートはUSドル145円、ユーロ155円としています。

年間配当金の予想につきましては、中期経営計画の方針に従いまして、  
前期比5円増配とし、一株当たり45円とする予定といたしました。



2024年度 通期連結業績予想 セグメント別業績推移

(単位：億円 / %：営業利益率)

	2023年度 実績		2024年度 予想		増減額		増減率	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期	上期	通期
売上高								
時計事業	785	1,662	820	1,715	+34	+52	+4.4%	+3.2%
工作機械事業	414	816	360	730	▲54	▲86	▲13.1%	▲10.6%
デバイス事業	221	424	213	425	▲8	+0	▲4.0%	+0.0%
電子機器他事業	107	225	117	230	+9	+4	+8.5%	+2.2%
合計	1,529	3,128	1,510	3,100	▲19	▲28	▲1.3%	▲0.9%
営業利益								
時計事業	102 (13.0%)	198 (11.9%)	102 (12.4%)	205 (12.0%)	+0	+6	▲0.0%	+3.3%
工作機械事業	52 (12.6%)	90 (11.1%)	28 (7.8%)	66 (9.0%)	▲24	▲24	▲46.4%	▲26.9%
デバイス事業	4 (1.8%)	4 (1.1%)	4 (1.9%)	8 (1.9%)	+0	+3	+0.0%	+72.8%
電子機器他事業	6 (6.3%)	15 (7.1%)	8 (6.8%)	15 (6.5%)	+1	+0	+18.5%	▲5.5%
消去又は全社	▲29	▲58	▲32	▲64	▲2	▲5	-	-
合計	135 (8.9%)	250 (8.0%)	110 (7.3%)	230 (7.4%)	▲25	▲20	▲18.8%	▲8.2%

■ 時計事業は好調さを保つも、工作機械事業の需要の波の影響を受け、減収減益

セグメント別の業績予想です。

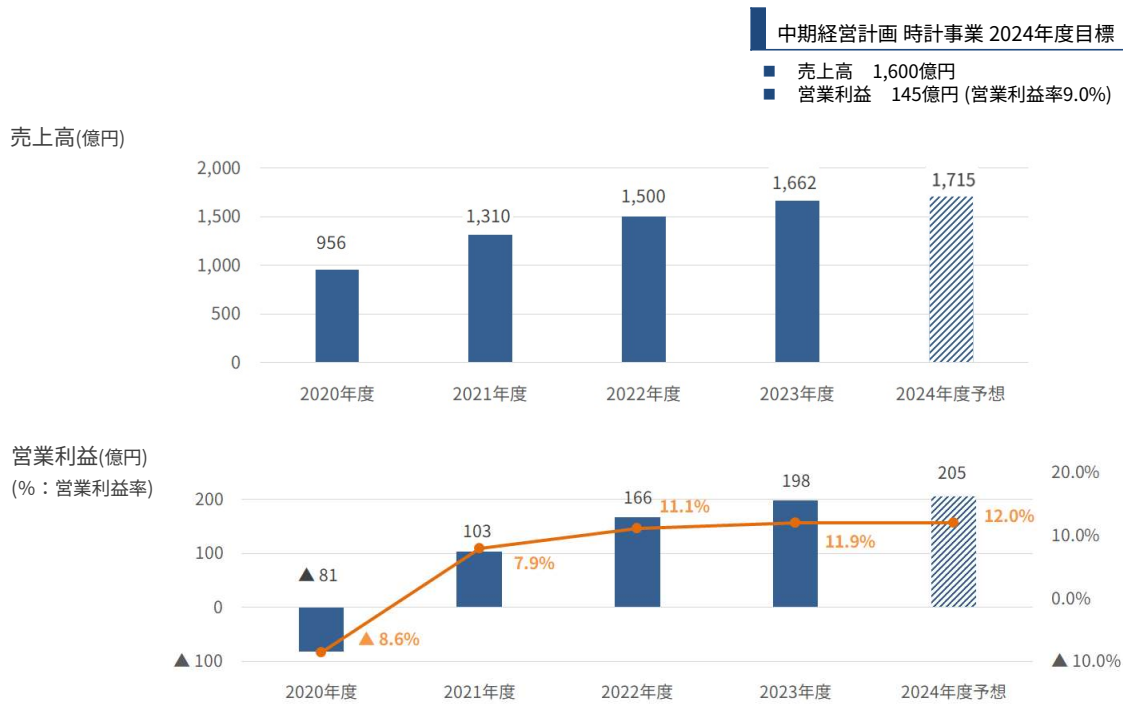
時計事業については、好調を維持し、売上高は前年比52億円増の1,715億円、営業利益は205億円と増収増益を見込む一方で、

工作機械事業につきましては、需要の波の影響を受け、売上高は前年比86億円減、営業利益は24億円減と、減収減益を見込んでおります。

デバイス事業は、売上高は前年並みの425億円、電子機器他事業は、前年比微増の230億円としております。

## 「中期経営計画 2024」 取り組み

最後に「中期経営計画 2024」の取り組みについて、簡単に振り返りをさせていただきます。



時計事業に関しては、コロナ禍の影響を受け大きく落ち込んだ2020年度から着実に回復を遂げまして、前年に引き続き、コロナ前の2018年度営業利益を大きく上回る実績となりました。

為替の追い風もありましたが、営業利益率も11.9%となり、中期経営計画の目標である9.0%を大幅に上回る結果となりました。

### グローバルブランド拡大の進捗状況

- 『PROMASTER』 2024年にブランド誕生35周年、プロフェッショナルスポーツウォッチとして更なる強化
- 『CITIZEN L』 サステナブルレディスウォッチとして、北米やアジアをはじめ欧州市場でも販売を拡大
- 『Series 8』 2023年度より海外展開を強化、欧州市場に引き続きアメリカ市場へも本格導入スタート

 **PROMASTER**



発売日：2024年秋冬  
価 格：希望小売価格 102,300～110,000円(税込)  
モデル：3モデル

CITIZEN *L*



発売日：2024年4月4日  
価 格：希望小売価格 62,700～71,500円(税込)  
モデル：3モデル

**Series 8**



発売日：2024年3月21日  
価 格：希望小売価格 198,000～209,000円(税込)  
モデル：3モデル(限定モデルを含む)

重点戦略の一つである「グローバルブランド戦略」についてご説明します。

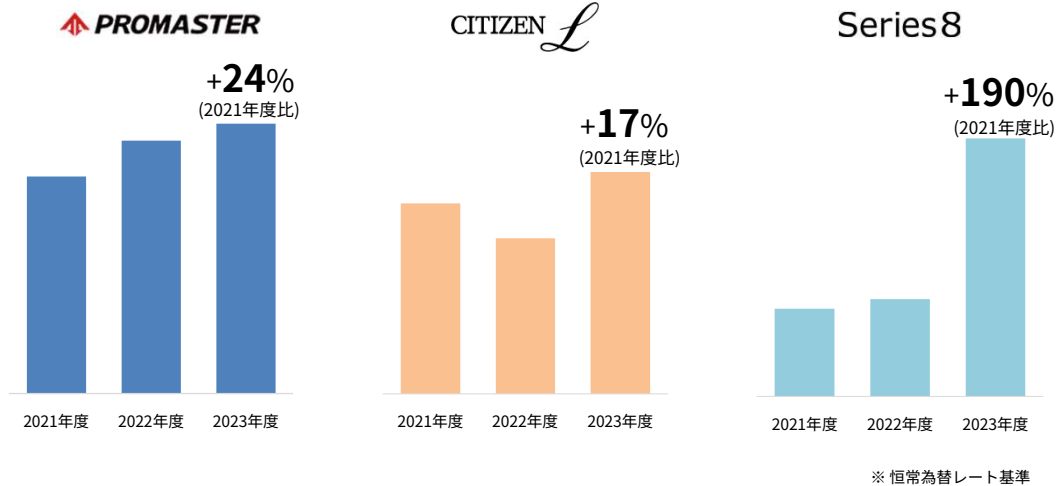
『PROMASTER』は、今年ブランド誕生35周年を迎えました。グローバル市場におけるCITIZENブランドのプロフェッショナルスポーツウォッチとして、更に取り組みを強化しております。

『CITIZEN L』は、地球環境に配慮したサステナブルレディスウォッチブランドとして、2023年度よりグローバル展開を本格始動いたしました。

また、機械式時計ブランドである『Series 8』のグローバル展開を開始しています。

## グローバルブランド拡大の進捗状況

- 『PROMASTER』 売上は毎年着実に伸長し、北米や日本で販売増加。
- 『CITIZEN L』 新商品を中心に、本格的にグローバル展開を開始。
- 『Series 8』 商品ラインナップを拡充し、欧州で販売拡大。今年は北米で販売開始。



21

こちらは、グローバルブランド別の伸び率になります。

『PROMASTER』の売上は、2年前の2021年度との比較で24%の伸びとなりました。

北米や日本での販売が増加し、毎年着実に伸長させることができいております。

『CITIZEN L』は、17%の伸び率です。新製品を軸に2023年度よりグローバル展開を開始しております。

『Series 8』の売上は190%増となりました。2023年度より商品ラインナップの拡充を行い、欧州で販売を拡大することができました。

さらに今年は北米での販売を本格的にスタートさせることとなります。

### ブランドプレゼンス強化による販売単価上昇

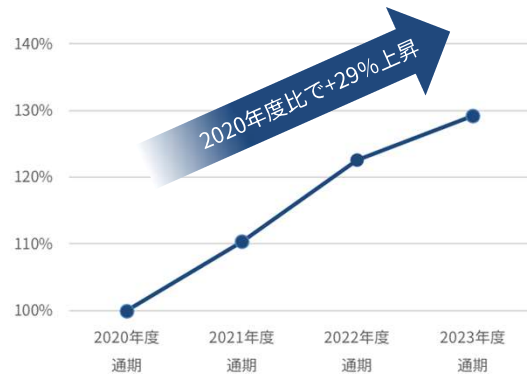
- 国内は『ATTESA』や『PROMASTER』の好調が継続し、販売単価が上昇
- 北米はCITIZENブランド、BULOVAブランドともに高付加価値製品の投入や値上げ実施等が奏功し販売単価が上昇

#### 国内販売単価増減率



※ 2020年度を基準とした国内のCITIZENブランドの販売単価増減率

#### 北米販売単価増減率(現地通貨ベース)



※ 2020年度を基準とした北米のCITIZEN、BULOVAブランドの販売単価増減率(現地通貨ベース)

22

次に、主要2地域の販売単価の推移をご説明します。

国内では、『ATTESA』や『PROMASTER』の好調が継続し、販売単価は2020年度比で22%の上昇、  
北米では、CITIZENブランド、BULOVAブランドの両ブランドにおきまして、より付加価値の高い製品の投入や値上げの実施が功を奏しまして、2020年度比で29%の単価上昇となっております。

## 「CITIZEN」ブランド時計100周年

- 「CITIZEN」の名が冠された初めての時計の発売から100年。次の100年に向け2024年秋、手巻き懐中時計を発売
- 100周年を記念し、構造色文字板で「ときの積層」を表現した「LAYERS OF TIME」全7モデルを発売



新たなタイムピースとなる手巻き懐中時計

発売日：2024年秋  
価格：希望小売価格 1,100,000円(税込)  
限定数量：世界限定100本



ブランド横断コレクション「LAYERS of TIME」全7モデル

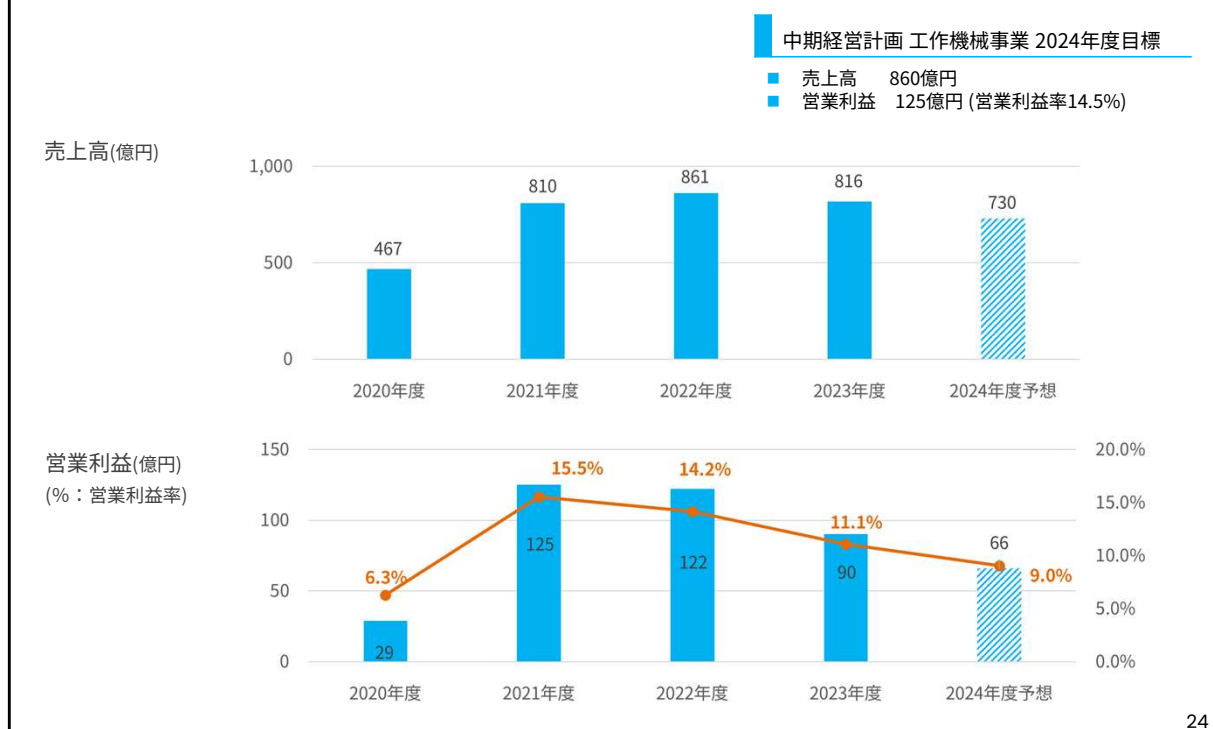
発売日：2024年5月28日  
価格：希望小売価格 66,000～341,000円(税込)  
限定数量：  
EXCEED(限定450本)、ATTESA(世界限定1,900本/2,100本)、PROMASTER(世界限定10,000本)  
CITIZEN COLLECTION(世界限定2,400本)、xC(世界限定1,500本)、CITIZEN L(世界限定4,200本)

23

2024年は、CITIZENの冠をつけた時計が1924年に発売され100年を迎える記念の年となっております。

この100年間で培ったシチズンの技術を盛り込みまして、次の100年に向けた懐中時計を今年の秋、世界限定で発売いたします。

また、100周年を記念し、構造色文字板で「ときの積層」を表現したブランド横断コレクション「LAYERS of TIME」の発売も予定しており、シチズンブランドの販売強化を進めてまいります。



工作機械事業の業績推移となっております。

設備投資の循環サイクルの影響を受け、売上高、営業利益共に中期経営計画の目標を下回る結果となりました。

しかしながら、中計初年度である2022年度に、目標値の「売上860億円」を達成しております。

この間、次の需要のピークに向けた生産能力の増強を着実に進めておりまして、今後更なる成長を目指してまいります。



### 売上高1,000億円規模に対応する生産基盤の構築

- 長期的な目標として売上高1,000億円を見据え、生産能力増強を実施
- 2023年5月に軽井沢本社の精密加工工場が完成し、基幹部品の生産能力6割増強(2021年度比)
- 中国、タイ、本社工場の設備投資が完了し、生産能力は2021年度比で4割増(2021年度比)となった



軽井沢本社 精密加工工場

- 基幹部品の生産能力6割増強(2021年度比)
- 精密加工工場延床面積：4,459 m<sup>2</sup>
- 稼働開始：2023年5月



タイ工場

- 生産能力5割増強(月産最大350台体制)
- 増床延床面積：4,475 m<sup>2</sup>  
(増床後の総延床面積：27,488 m<sup>2</sup>)
- 稼働開始：2022年11月



中国工場

- 生産能力倍増(月産最大350台体制)
- 延床面積：34,200 m<sup>2</sup>
- 稼働開始：2021年2月

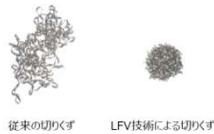
先ほどお話した生産能力の増強の件です。

詳細はご覧の通りですが、これまで軽井沢本社、タイ、中国で生産能力の増強を図ってまいりました。

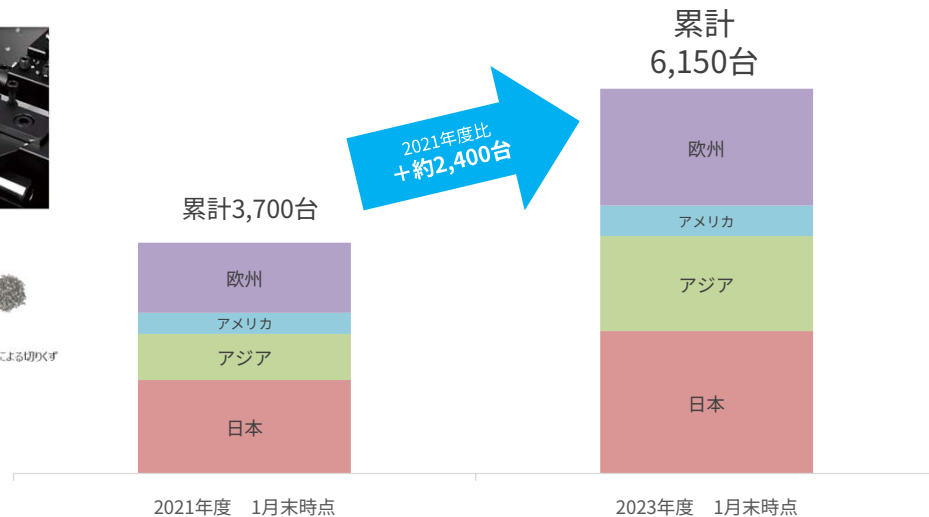
これらの設備投資によりまして、生産能力は2021年度比4割増となっております。

### LFV技術搭載機 グローバル累計出荷台数の推移

- LFV（低周波振動切削）技術は切りくずを分断しながら加工するシチズン独自の加工技術
- 2021年以降、強みである先進国市場だけでなく、アジアでも販売を拡大



従来の切りくず LFV技術による切りくず



26

こちらは、LFV技術搭載機の実績でございます。  
LFV技術は、シチズン独自の制御技術で、切りくずを細かく分断しながら加工する技術となっております。

LFV技術搭載機は、2021年以降、強みである先進国市場だけでなく、アジアでも販売を拡大しております。  
2023年度1月末時点でのグローバルの累計出荷台数は、2021年比で2,400台増加いたしまして、6,150台を突破し、付加価値戦略を着実に進めております。

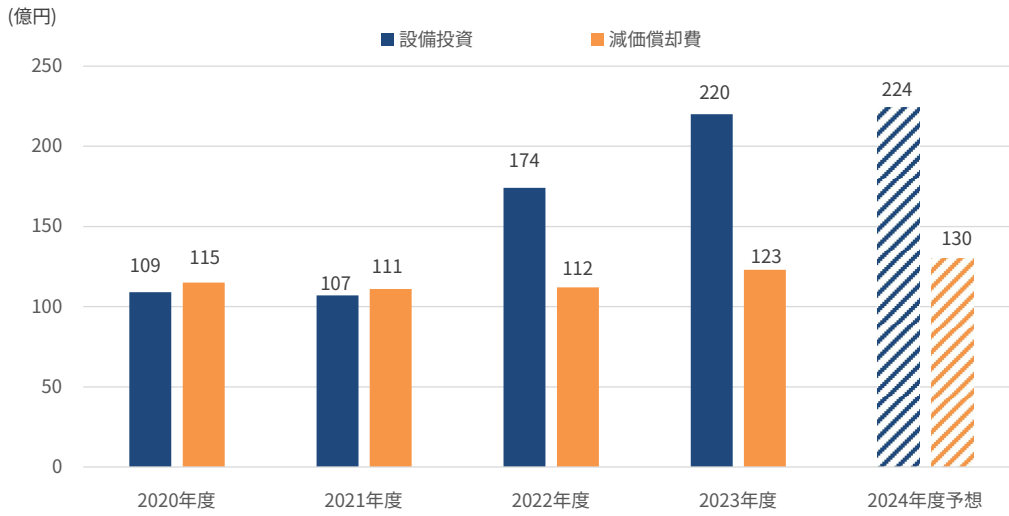


# CITIZEN

本プレゼン資料における将来予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大幅に異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。  
なお、億円未満は切り捨てになっています。

以上で私からの説明を終わります。

設備投資・減価償却費



- 「中期経営計画 2024」に基づき時計事業の合理化投資および工作機械事業の成長投資を加速
- 投資配分イメージ 時計事業+工作機械事業 7割以上

株主還元

中期経営計画 株主還元方針 2022~2024年度

- 安定的かつ継続的な配当を重視
- 配当性向 50%目安
- 自己株式取得 状況に応じて機動的に判断

2024年度 配当予想

- 1株当たり配当金 年間45円  
(中間 22円50銭 / 期末 22円50銭)

